

## 令和6年度 「確かな学力」 向上推進デザインシート

学校名

大仙市立大曲中学校

学校の教育目標

一人一人が「よく生きる」豊かな学園の創造 「共働・共励」「共鳴・共感」

## &lt;「確かな学力」の育成に係る目指す子どもの姿&gt;

- 「よく生きよ」を自ら問い、目を輝かせて自分の考えを広げ、深め、表現しようとする生徒
- 自ら課題を設定し、課題解決に向けて、笑顔で他者と協働しながら新たな考えを創造できる生徒
- 満ち足りた表情で、獲得した知識・技能を実社会や実生活、課題解決に生かすことのできる生徒

## ○「確かな学力」向上のための推進計画

## 【Plan】「目指す子どもの姿」に基づいた研究主題及び研究の仮説

## &lt;研究主題&gt;

問いを發し、他者との協働を通して自ら学びを深める生徒の育成  
～学びをつなぎ思考の活性化を促す授業の工夫を通して～

## &lt;研究の仮説&gt;

生徒が関心・意欲を高め、主体的に課題を設定しその解決に向けて問いを發しながら取り組める単元・題材を構想する。そこで、ねらいに迫る効果的な学び合いを取り入れた多様な学習活動を展開し、生徒の考えをつなぐ教師のコーディネート機能を機能させることで、生徒の思考を活性化し、深い理解を実現することができるであろう。

## 【Do】「目指す子どもの姿」を実現するための研究の重点と具体的な手立て

- 重点①学びをつなぎ思考の活性化を促す授業の工夫
- ・「深い理解」につながる単元展開・授業展開の構想（展開のコーディネート）
  - ・思考の活性化を促す発問の工夫（生徒の意見のコーディネート）
  - ・ねらいに応じた ICT の有効活用
  - ・自力思考、ペアや小集団、全体での学び合いなど多様な学習形態の活用
  - ・「マイヒストリー」（振り返りカード）を用いた効果的なフィードバック（見取る、価値付ける）
- 重点②授業のコーディネートの土台づくり
- ・大曲中「学びの基本」「教える基本」の共通理解と確実な実践
  - ・「大曲中学校区での学習を通して目指す姿」の共通理解と発達段階に応じた指導

## 【Action】改善の計画

## &lt;短期&gt;

- ・日々の授業でコーディネート力の向上を図り、学び合いの活動における生徒の姿、振り返り等を基に指導の改善につなげる。
- ・授業研究会や「授業参観ツアー(全校)」、「ぶらり研(教科)」、アンケート等を通して明らかになった成果と課題を全職員で共通理解し、課題を焦点化することで授業改善に生かす。
- ・長期休業期間中に教科部会を行い、授業における共通実践事項に関わる取組の成果と課題を確認し、改善策を立てる。

## &lt;長期&gt;

- ・県学習状況調査の結果を分析し、成果と課題を明らかにする。課題に対するフォローアップを行い、その達成状況を検証することで授業改善に生かす。
- ・年度末に研究推進委員会を実施し、各教科等の成果と課題を共有し、学校全体の次年度の研究の課題を明らかにする。

## 【Check】「目指す子どもの姿」の実現状況の把握と具体的な手立ての有効性についての検証

評価方法と判断の基準	評価時期	担当
教師の授業コーディネートが、ねらいの達成につながっていたかを生徒の振り返りから検証する。	授業後 単元・題材 終了後	教科担任
研究授業や授業参観ツアー等で、生徒が目指す姿の具体になっているか検証する。	6～12月 授業参観、 研究協議	全教職員 研究主任
学習アンケート(生徒)及び授業アンケート(教師)を実施し、成果と課題について協議する。(各項目で4段階評価の3以上であるか)	7月 12月	全教職員 研究部
県学習状況調査の各設問において通過率が基準を上回っているか検証する。	12月	研究部 教科部